

令和元年度 ● 地域活性化システム論

農学と地域活性化

受講料
無料

(事前にお申込みください)



岡山大学

OKAYAMA UNIVERSITY

世界への扉を開く

日時

10月12日～11月9日
(土曜日 13:00～/全3回)

【対象者】 岡山大学学生・地域活性化に関心のある企業・自治体・NPO 団体・県民・市民の方など

第1回講義

テーマ：「**耕畜連携による岡山県農業の展開可能性**」

日時：令和元年 10月12日(土) 13:00～17:00

会場：岡山大学農学部3号館4階 多目的室

講師：目瀬 勤氏 (一般社団法人岡山県畜産協会経営支援部経営対策班 審議役)
仁科 由佳里氏 (岡山県農林水産部農産課農産振興班 主幹)
三木 隆司氏 (岡山県農林水産部畜産課生産振興班 副参事)

コーディネーター：横溝 功氏 (岡山大学大学院環境生命科学研究科(農学部) 教授)

概要：わが国はカロリーベース総合食料自給率が38% (平成29年度) と低い水準にある。周知の通り、その大きな要因がわが国の飼料自給率の低さにある(26%)。今後、耕種部門と畜産部門が連携して飼料自給率を高めることが肝要である。岡山県における耕畜連携の現状と課題について議論する。

第2回講義 第18回岡山大学農学部公開シンポジウム

*「創立70周年記念岡山大学ホームカミングデイ」と同日開催

テーマ：「**学士農業のススメ**」

日時：令和元年 10月26日(土) 13:00～17:00

会場：岡山大学農学部3号館4階 多目的室

講師：佐藤 方行氏 (農林水産省 経営局 就農・女性課 農業教育グループ)
蔵本(尾崎) 英治氏 (徳島県・えいじくんのイチゴ園) (イチゴ)
稲角 大地氏 (広島県・稲角農園) (ミカン)
高原 弘雅氏 (岡山県・岡山フルーツ農園) (イチゴ・ブドウ)

コーディネーター：吉田 裕一氏 (岡山大学大学院環境生命科学研究科(農学部) 教授)

情報交換会：17:30～19:30

会場：岡山大学生協ピーチ・ユニオン2F (会費制/事前にお申込みください)

主催：岡山大学農学部

後援：岡山県/岡山県農業協同組合中央会/中国四国農政局/NPO 法人中国四国農林水産・食品先進技術研究会

概要：農業従事者の高齢化と後継者不足による農業就業者人口の減少が危機感をもって論じられるようになって久しい。しかし、最近になって「生業」としての農業を見直す動きが増え始めており、Uターン・Iターンによる若手就農者が少しずつはあるが各地で増え始めている。本学部でも卒業後や大学院修了後あるいは数年間企業等に就職して社会経験を積んだ後に就農して、活躍する卒業生が徐々にではあるが増え始めている。農業者として活躍する卒業生に加えて農水省から後継者担当を迎えて、大学で学んだことを生かした「就農」という生き方について考えてみたい。

第3回講義

テーマ：「**地域資源再生～付加価値の創出**」

日時：令和元年 11月9日(土) 13:00～17:00

会場：岡山大学農学部3号館4階 多目的室

講師：藤田 泉氏 (百姓のわざ伝承グループ 代表)
二階堂 裕子氏 (ノートルダム清心女子大学文学部現代社会学科 教授)

コーディネーター：駄田井 久氏 (岡山大学大学院環境生命科学研究科(農学部) 准教授)

概要：持続可能な地域づくりには地域資源の活用が不可欠である。放棄されていた荒廃茶園(こうはいちゃえん)を復活させ、希少価値の高い国産紅茶「高粱紅茶」として商品化に成功した活動を事例に、地域資源活用の可能性を議論する。

お問い合わせ
お申込み先

岡山大学農学部総務担当 〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1-1

TEL: 086-251-8282 / FAX: 086-251-8388 / E-mail: QEE8273@adm.okayama-u.ac.jp

URL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/agr/>

*単位履修学生につきましては、教務学生担当へお申込みください。

*各回だけの参加、履修登録されていない学生も大歓迎です。準備の都合上、事前にお申込みください。

▶氏名▶所属(勤務先)(学生の場合は大学名・学部・学年・研究室名も)▶連絡先(電話番号/e-mail アドレス)